

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | セーボネス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 1月 24日 | | 2025年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 3月 3日 | | 2025年 3月 14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) 12 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 発達支援：一人ずつよくアセスメントしたうえで、個々合わせた発達支援をチームで行っています。 | 一人ずつ発達や家族背景、成育歴などをアセスメントし、必要な支援をチームで組み立てて個別の活動や少人数の活動、大きな集団での活動を組み合わせながら支援をしています。活動内容についても発達や情緒に合わせて個々に満足できるような活動から徐々に仲間を意識した活動、チームで勝ち負けの別れる活動など発展させていきました。 | 発達段階に差があっても大人のサポートでそれぞれに満足のいく活動が出来るように、よりに細やかな個別化を図っていきます。 |
| 2 | 人材育成：研修の機会を多く持ち、職員の育成を充実させています。また、意見を適切に聞く機会を作り、業務の改善に反映しています。 | 1年目職員週1回、2年目以上職員は月1回、個別にSVを実施し、職員の困り感を吸い上げたり、頑張りやを労っています。また、年数別や部門、役職等で割り振った研修も多く設けて、内外の講師から学ぶ機会を充実させています。 | SVの実施や研修会を継続し、法人内外両方の研修に多くの職員が参加出来るよう年間で設定していきます。 |
| 3 | 保護者支援：個別の面談の他に保護者同士の交流が持てるような機会を作り、同じ子育ての悩みや同学年のきょうだいがいるなど接点を増やして行きました。 | 親子発達支援やグループカウンセリングなどタイミングを決めて保護者が集まり、家庭の話や子育ての悩みなどを共有できる場を作りました。同じ学校に入学する子同士が繋がりがやすいように学校行事に事業所からグループで出発したり、職員が同行しました。 | 事業所に集まりやすい保護者の方だけではなく、お仕事や事情のある保護者の方には個別で時間を取ったり、家庭訪問するなどの配慮やサポートにも力を入れていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 地域の幼稚園・保育園等関係機関との連携 | むぎのご発達クリニックや児童相談所などの関係機関との連携は充実していましたが、地域の幼稚園・保育園・児童発達支援事業との連携は昨年度よりも頻度が減ってしまいました。 今年度は午前中に利用する児童が多く事業所内での指導に時間を割く割合が増えました。また、これまで週末に行っていた幼稚園行事が平日に移行した園があり見学の機会が減りました。 必要に応じて電話での情報共有などを行ってきました。就学予定の学校については連携会議や書類での情報提供を行っています。 | 併行利用の幼稚園・学校・事業所などと保護者の同意の上で連携をとっていきます。 利用状況や、発達に於ける特性、支援の方向性等を共有し、それぞれの機関と役割分担をしながら連携した支援を行っていきます。 |